



- 令和6年度の開二中のスローガンは、「開二魂の復興～それから～」です。
- そして、合言葉は、「共感・感謝・敬意」です。 校長 牧野 英一

3学期始業式 「自ら夢を描いて、「共感・感謝・敬意」の気持ちを伝え合いましょう。」

1 新年に当たり

新年おめでとうございます。皆さん13日間の冬休みをどのように過ごしたでしょうか。家族の一員として、親戚や様々方々とお会いした際には、「共感・感謝・敬意」の気持ちを姿勢、身だしなみ、あいさつ、拍手、お辞儀などで伝えることができたでしょうか。

そして、自分自身の歩みを振り返り、年末年始には新しい自分を発見できたでしょうか。3学期に「先手必勝の意識」で行動に移し自分で自分の運命をつかみ取ってください。

2 「開二魂の復興」に向けて

いよいよ開進第二中学校の3学期の学校生活が始まります。一方で、あと3か月で皆さんは新しい学校や学年に進級します。時の流れは、とても早く私たちを待ってはくれません。

令和6年度のスローガンは「開二魂の復興～それから～」です。私は魂とは、一人一人「思いや願い」だと話してきました。開二中の15,000人以上の卒業生一人一人の熱い「思いや願い」を感じながら、一瞬一瞬の出来事に「思いや願い」を込めて全力で取り組み、表情や後ろ姿で絆をつなぐことができているでしょうか。

年頭に当たり、3学期に自分自身のやるべきことを改めて、明確にしてほしいと思います。まずは、自分自身についてです。

第一に新しい年を迎え、「夢」を描いて目に見える形にしてください。「夢」を描くことはとても大切です。「夢」は自分の将来への道しるべとなり、行動の原動力となるからです。数日後、数カ月後、数年後、そして数十年後に自分がなりたい具体的な姿を描いてください。

そして、自分の「夢」に対して、「先手必勝の意識」で行動に移し、自分で運命をつかみ取ってください。具体的な行動を起こさなければ何も達成できませんし、「夢」をかなえることなど不可能です。

第二に、新年の学校生活を始めるに当たり、改めて、姿勢、身だしなみ、あいさつ、拍手、お辞儀などの基本的な生活様式を大切にしてください。そして、相手に「共感・感謝・敬意」の気持ちを伝えてください。これらの気持ちを大切に、日々の生活の中で行動に移していけば、知らないうちに自らの運命を切り拓くことができると思います。

第三に、新年に当たり、その中で特に「先手必勝の声かけ」を改めて大切にしましょう。相手を選ばずに自分から声をかけることが多様性を受容するスタートです。

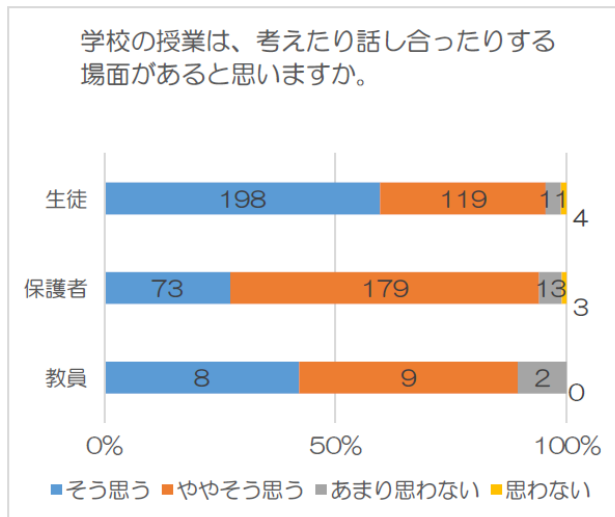
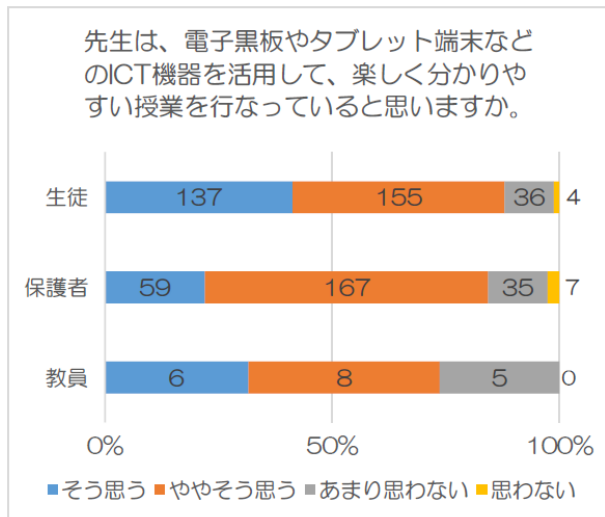
待つのではなく、自分の気持ちを相手に伝えてください。相手の表情を見て、双方向の関係で、「共感・感謝・敬意」など相手と自分を大切にする気持ちを表現して、互いの存在を認め合うことで、真の意味で「開二魂の復興～それから～」を図ることができます。

それでは、令和6年度の最後を締めくくる3学期を皆さんと教職員で力を合わせて、共に「夢」を描きながら、「先手必勝の意識」でより良い開進第二中学校を築いていきましょう。

令和6年度 教育に関するアンケート「よりよい学校づくりを目指して」 集計結果

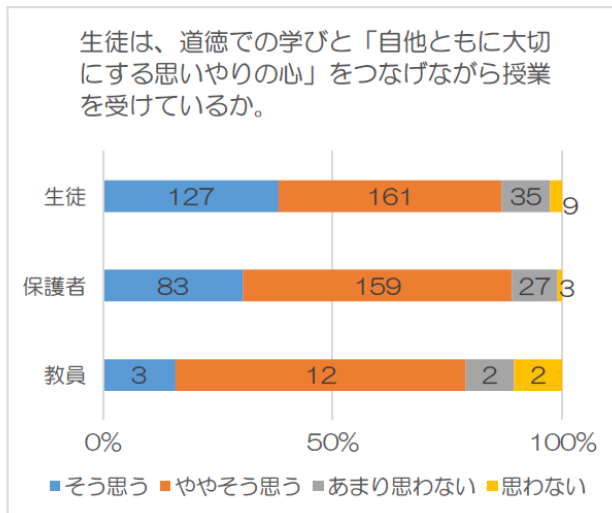
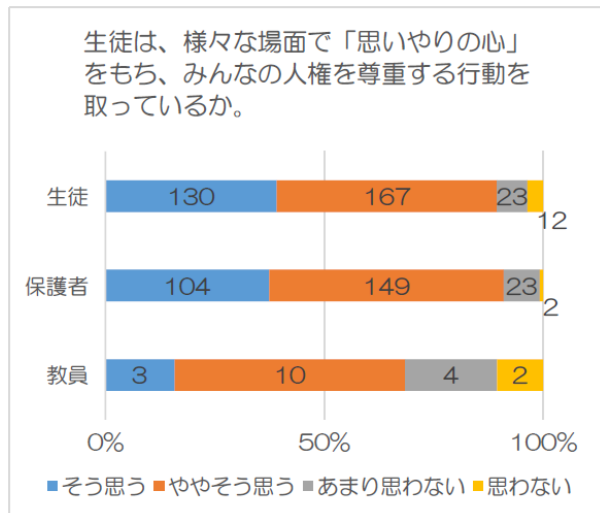
(回答数 生徒…332名 教員…20名 保護者…281名)

【学習指導について】



学習指導については、分かりやすい授業、考えたり話し合ったりする授業、学習評価の項目で8割以上の肯定的な回答をいただきました。今後も、目的を明確にしてICT機器やタブレット等を活用し、話し合い活動の意図の明確化、考える分かりやすい授業を推進するという課題意識をもって授業改善を進めていきます。

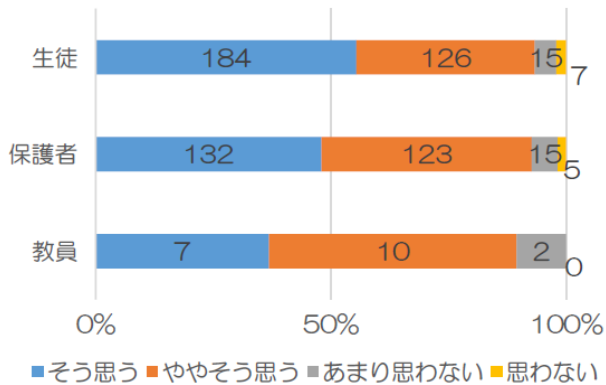
【人権教育について】



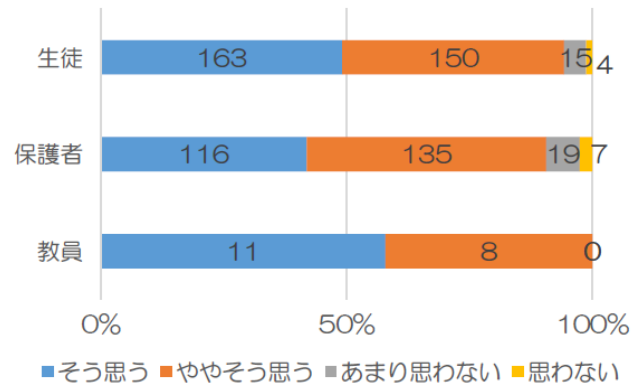
人権教育については、東京都人権尊重教育推進校として、多様性を認め合い、自己肯定感を高めるため、意図を明確にした話し合い活動を授業展開に取り入れ、約9割の肯定的な回答をいただきました。今後も学校教育全体を通して、計画的に人権教育を推進し、「共感・感謝・敬意」の気持ちを伝え合い互いの人格を尊重することで、思いやりと規範意識を育てていきます。

【生活指導について】

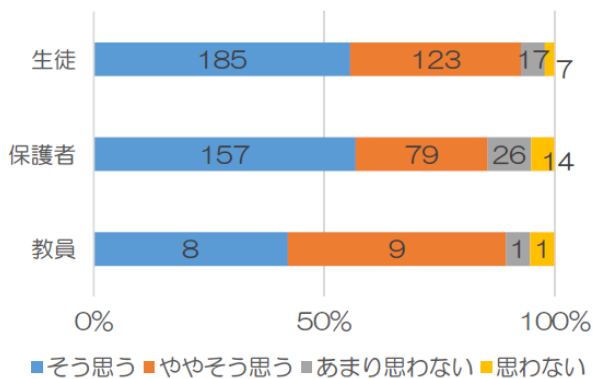
生徒は、先生から挨拶・時間を守るなどの基本的な生活習慣を身に着けるための指導を受けていると思いますか。



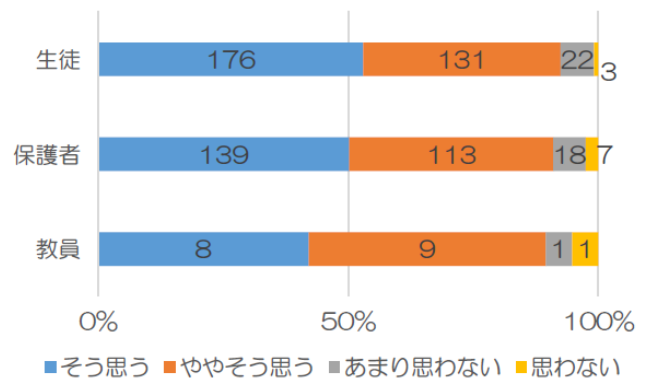
生徒は、先生から感染やけがの防止をはじめ、健康や安全について配慮しながら生活するよう指導を受けているか。



生徒は、部活動をはじめ、生徒会活動（あるいは委員会活動や係活動）に一生懸命取り組んでいるか。



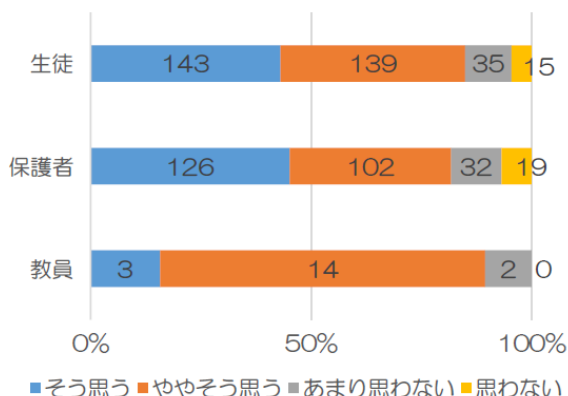
生徒は、運動会や学年の行事、学級の人と協力しながら、主体的に取り組んでいるか。



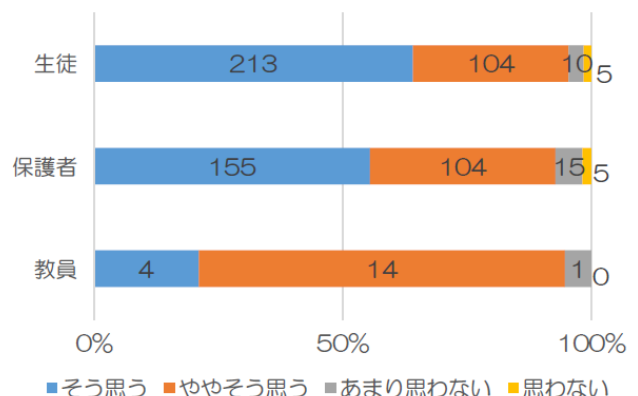
生活指導については、生徒一人一人が落ち着いて学校生活を送り、全体としては、約9割の肯定的回答をいただきました。生活のきまりを見直し、場面に応じて生徒と教員が双方向でやりとりをすることで、よりよい学校生活を送ることができるよう、生徒自身が考える機会としています。また、声かけなどを行う際に、相手に「共感・感謝・敬意」の気持ち伝えることを大切にしています。特に多様性を受容する第一歩として、「あいさつは先手必勝」を合言葉に、相手を選ばずにあいさつするというを朝礼や学校だよりなどを通じて生徒に繰り返し伝えていきます。今後は、部活動や生徒会活動の進め方について検討していきます。

【教育相談について】

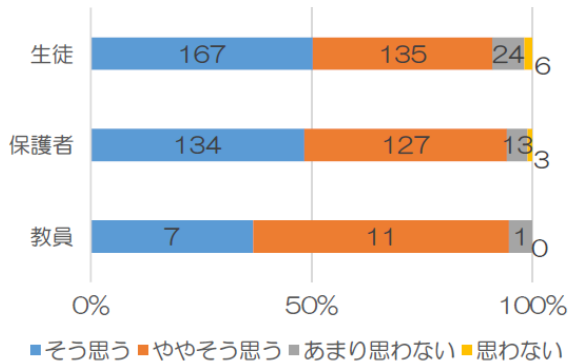
生徒は、学校に行くことを楽しいと感じているか。



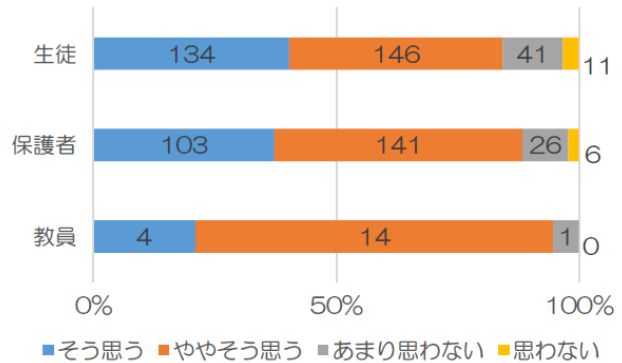
保護者は、生徒を安心して登校させているか。



先生やスクールカウンセラーなど生徒に関わる方々は、生徒のみなさんに対して親身になって接しているか。



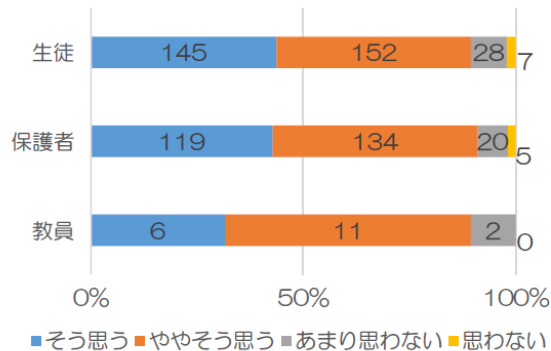
学校は、生徒のみなさんや保護者の方々が困ったときに安心して相談できる場所になっているか。



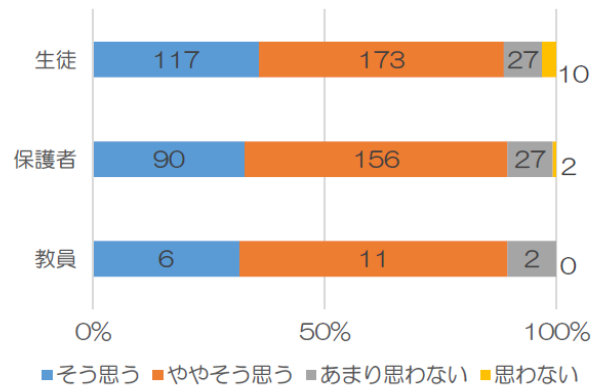
教育相談については、特に「安心して登校できる」、「教職員は親身になって接している」という内容で約9割の肯定的回答いただきました。一方で、「学校に行くことを楽しいと感じている」、「学校は、困ったときに安心して相談できる場所となっている」という問いに対して、2割弱の生徒が否定的な回答をしています。今後も、学校生活に不安のある生徒が2割弱いるということを前提に、学校が全ての生徒や保護者の方々にとって安心できる場所となるように、教職員の協力体制を一層強化していきます。

【学校運営について】

学校は、学校だよりや学年だより・ホームページなどで経営方針や教育活動を分かりやすく伝えているか。



学校は、PTAや保護者との連携を大切にしながら、教育活動を進めているか。



学校運営については、学校からの情報発信、保護者等との連携の項目とも、約9割の肯定的な回答をいただきました。今後も、学校HP、sigfyをはじめ、学校・学年だより等様々な場面を活用して、教育活動や健康・安全等に関する学校からの情報発信を迅速かつ継続的に行います。

そして、情報発信に基づく、双方向の関係性の構築を一層重視していきます。学校運営に関してご不明な点がありましたら、各学年、副校長などを窓口として、お気軽にご相談ください。